

犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和6年度)

| 業務タイトル          |   | 成果報告内容                                        |                                            | 成果指標                                         | 実績                                             | 実施内容                                                                           | 進捗状況                                                                                                                    |
|-----------------|---|-----------------------------------------------|--------------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 |   | 項目2（事業内容/仕様書内容）                               | ★は月次報告を行う<br>★開館日数、受付勤務実績<br>★利用件数、施設の活用実績 |                                              |                                                |                                                                                |                                                                                                                         |
| (1)プラザの受付及び情報発信 | ア | 施設利用や備品利用、啓発や周知を目的とした展示の受付対応等                 | ア ★開館日数、受付勤務実績<br>イ ★利用件数、施設の活用実績          | 開館日数 300日<br>来館者数 8000人/年                    | 開館日数 307日<br>交流スペース利用人数 5,151人                 | 受付対応（施設利用・印刷・チラシ・備品利用）<br>事業関連の申込受付・登録受付<br>相談に関する受付対応（金曜日のみ、19時まで受付延長）        | 市民交流センター開館時間内の利用可能に伴い、フリースペースの利用が増加。<br>利用方法を明確化し、利用ルールを各所に設置して周知を行っている。                                                |
|                 | イ | 施設内の整理、整頓                                     | —                                          | —                                            | —                                              | 随時                                                                             | —                                                                                                                       |
|                 | ウ | チラシ、パンフレット、関連書籍等の収集、掲示、設置                     | ウ 施設内における掲示情報等の状況写真                        | 展示スペースの利活用                                   | 6回<br>※R5：11回                                  | チラシ受付、書籍貸出等の管理<br>展示スペースの利用受付                                                  | （展示スペース利用団体）<br>・いぬやまe-コミュニティネットワーク、紫鷺書道サロン、イッテイジャパン（株）まなびばいぬやま教室<br>・名古屋経済大学：年間                                        |
|                 | エ | 施設利用に関する市所管課との連絡調整、日報の作成                      | —                                          | —                                            | —                                              | 随時                                                                             | —                                                                                                                       |
|                 | オ | 利用団体の登録に関する事務                                 | —                                          | —                                            | 市民交流センター登録<br>新規 8件<br>※R5:11件                 | 市民交流センター登録の随時受付、市民活動団体登録支援                                                     | イベント周知等に課題を抱える団体が多く、チラシの設置やポスター掲示のために登録する団体が増加している。                                                                     |
|                 | カ | ホームページやSNSによる情報発信                             | エ ホームページの主な発信内容                            | HP 50回/年<br>LINE 50回/年<br>HPアクセス件数 10,000件/年 | HP 61回<br>LINE 67回<br>HPアクセス件数 14,487件         | ・公式LINE、Facebook、Twitter、Instagramを随時更新<br>・SNSを使用しない人向けのメール配信も実施              | 公式LINE登録：260名、X(旧Twitter)フォロワー：272名、<br>Facebookフォロワー：471名、<br>Instagramフォロワー：（プラザ）630名、（つなフェス）467名                     |
|                 | キ | 紙媒体の機関誌の発行（年4回）                               | オ 作成した機関誌等成果物                              | 4回/年                                         | 4回<br>※R5：4回                                   | ・A3両面カラー、夏・秋・冬・春号、各1,300部発行【(1)-①】<br>・バンク資源・マッチング事例紹介、助成金情報、事業レポート等           | プラザ関係団体、市内各施設に配布するほか、町会長会総会などの市協力事業でも配布。                                                                                |
| (2)相談・助言業務      | ア | 団体の設立・事業企画・事務処理・組織運営、協働事業の企画、マッチング、評価などの相談窓口  | ア 相談対応を行った件数、内訳等、全体の結果<br>イ ★相談カルテ         | 相談件数 80件/年                                   | 相談件数 128件<br>※R5：118件                          | 予約相談【(2)-①】<br>固定の相談日は設けず、予約受付して実施中<br>事前に受付する際の相談受付シートを作成して調整                 | 市民活動に関する相談に加え、地域団体（町会長など）の相談も増加している。また、施設利用者が相談する事例も増えている。                                                              |
|                 | イ | 地域活動、事業者の社会貢献活動を念頭に置いた周知、接遇、時間帯など、相談しやすい環境づくり | —                                          | つながりよろず相談会 40人/年                             | つながりよろず相談会<br>開催回数 5回<br>参加人数 6人<br>※R5：8回、21人 | 令和6年度まで開催していた「事務局のための事務局活動支援ジムジム相談会」の対象者を広げ、つながりをテーマに「つながりよろず相談会」として開催。【(2)-②】 | 過去の相談案件などから、相談できる内容をメニュー化して情報発信を行い、活動相談ができる場があることの周知も行った。<br>自由に相談できる場としてテーマを設定せず行ったが、参加が少なかったため、R7は情報提供テーマを設定して実施する予定。 |
|                 | ウ | 専門家への協力依頼、プロボノの活用など、ニーズに対応できる体制の構築            | —                                          | —                                            | 事前相談件数 11件<br>※R5：17件                          | 市民活動助成金の事前相談受付を実施                                                              | 事前相談にて、地域や市民に還元される事業になっているか、無理のない事業計画かなどを確認し、団体のステップに合わせたアドバイスを行った。令和7年度については、5団体全てが満額交付となった。                           |

(1)-① 機関誌



(2)-① 相談・連携案件の事例

○学生からの相談

犬山総合高校で生徒会活動を行っている生徒から、学校に購買を設置するためのアクションについてどのように進めればよいかの相談があり、他の高校でパンの自販機を設置していることや、地域資源バンク登録のあるキッチンカーなどのアイデアを提供した。相談のきっかけは、犬山総合高校で実施した地域探求学習の支援の中で協働プラザを紹介したことであり、アウトリーチの活動から相談につながった事例である。

○伴走支援

R5年度に、地域で子どもの居場所を相談出来る場をまとめた一覧を作成したいとの相談があり、事務局活動に関することや、協力者の集め方など、企画の自走や団体立上げまでの伴走支援として、定例ミーティングへ同席している。  
協働プラザがもつノウハウや経験を活かし、他団体との連携や事業の方向性についてアドバイスを行っている。

○資金調達に関する相談支援

これまで活動を行ってきたが、資金面において市の補助だけでは印刷製本費にも十分ではなく、継続したいが難しくなってきたとの相談があり、行政や企業など活用できそうな補助金を提案した。

(2)-② つながりよろず相談会 相談内容

○町内会の運営について

R6年度町会長より、負担軽減のために業務内容を整理したいとの相談。アンケートでの世帯調査の予定や、回覧方法のアイデアを検討しているとのことで、アンケート調査の項目の参考になるマニュアルや、協働プラザについて紹介した。

○一緒に活動してくれる方とつながりたい

音遊びを通して音楽に親しむ活動を行ってきたいが、一緒に活動できる方はいないかとの相談。同じ回に参加していた、マルシェ出店を行うまきさんから、マルシェの出店ブースでコラボ企画をしてみるのはどうかとの提案があり、実際にコラボでマルシェ出店を行った。

誰でも参加できる相談会を実施したことで、その場でつながりが生まれ、相談者のやりたいことが実現した。相談者の活躍できる場が生まれ、今後の活動に向けた一歩となった。

(1)-② いぬやまみらいテーブル実施テーマ

- ・起業や事業のことをタロットに聞いてみよう！
- ・地域の活動で使いたい「名刺」トーク！
- ・CANBAでトーク
- ・アメリカの楽しいホリデー（ハロウィン&クリスマス）をのぞいてみよう！
- ・何気な日常の隣にあると笑顔になる要素を話してみよう
- ・周産期メンタルヘルスクエ
- ・ほっともっと里山セラビー



犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和6年度)

| 業務タイトル                   |   | 項目2（事業内容/仕様書内容）                                                           | 成果報告内容<br>★は月次報告を行う                 | 成果指標              | 実績                                | 実施内容                                                                                                                            | 進捗状況                                                                                                                                       |
|--------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (3)地域資源バンク<br>シェアエコによる活用 | ア | 人材情報の収集 3年間で50件                                                           | ア ★年間で作成した地域資源情報の登録票及び一覧表           | 情報収集（人材）<br>20件   | 情報収集（人材）<br>24件<br>※R5：47件        | 新規登録を随時受けつつ、WEBサイトを運用中<br>既存の地域資源バンク登録者の情報を更新し、WEBサイトの構成内容の見直しも実施<br>アウトリーチ活動に合わせて、地域資源の発掘も進めている                                | 地域で活用できるスペースや、ワークショップ、イベントの講師など、多様な資源が集まってきている。<br>（登録例）<br>・いつまでも健やかに歩けるようになるための足指使い方講座<br>・居榮屋で行う子育て家庭相談<br>・常満寺マルシェ<br>・カナモリ堂（貸しスペース） 等 |
|                          | イ | 空間、活躍の機会、資機材 3年間で30件                                                      |                                     | 情報収集（資機材等）<br>10件 | 情報収集（資機材等）<br>9件<br>※R5：14件       |                                                                                                                                 |                                                                                                                                            |
|                          | ウ | 収集した情報は整理し、一覧表等にまとめる                                                      |                                     | —                 | —                                 | 随時                                                                                                                              | —                                                                                                                                          |
|                          | エ | HP、SNS等での情報発信、新着情報の更新、活用事例の広報、登録・活用のPR                                    | イ 地域資源バンクホームページの主な発信内容              | —                 | —                                 | プラザの情報発信事業と連携して実施<br>LINEの1対1トーク機能を活用して、事例紹介や資源の問合せなど、登録者をサポート                                                                  | R6から新たに、市民からHPを通して地域資源やイベント開催、登録してほしい地域資源等の情報を収集する仕組みも設け、地域資源の発掘を進めている。                                                                    |
|                          | オ | マッチングを3年間で100件<br>地域課題の解決に向け当事者へのヒアリング、団体の会合に出席して情報交換、能動的に情報活用を仕掛けて実績をあげる |                                     | —                 | —                                 | 7月中旬に①市民活動団体②地域資源バンク登録者③市民交流センター登録の三つの登録者に対して活動状況調査アンケートを実施                                                                     | ①44件/106件（41.5％）、②69件/154件（44.8％）、③19件/36件（52.8％）の回答を収集。今後の運営の参考としていく。<br>※（ ）内は回収率                                                        |
|                          | カ | 「いぬやまでばん」の運営                                                              | ウ ★主なマッチング案件の内容を記載した調査及びマッチング実績の一覧表 | マッチング件数<br>35件    | マッチング件数<br>43件<br>※R5：36件         | 相談内容に応じて、合致しそうな資源をピックアップし、仲介に入る等の対応を行う。<br>マッチング後、必要に応じて伴走支援を行う。<br>【(3)-①】                                                     | （マッチング事例）<br>音遊びで音に親しむ活動団体が、活動する場所、一緒に活動する方を探しており、学生マルシェの団体に繋げた。                                                                           |
|                          |   |                                                                           | エ 「いぬやまでばん」の運用に関する調書                | —                 | —                                 | ㊦WEBサイトの更新、メンテナンス                                                                                                               | シェアエコサイトとして必要機能の部分改修・機能追加を行い、より利用者が使いやすいサイトとした。（案件のランキング表示、相互評価機能の追加、管理者の表示変更等）                                                            |
|                          |   |                                                                           |                                     | 登録案件<br>50件       | 登録案件<br>17件<br>※R5：42件            | ①案件の登録があった場合、内容を確認し、承認を行う（随時実施）                                                                                                 | 活動者が個人で持てるインターネットページツールとして紹介しており、周知方法の一つとしての活用を目指している。                                                                                     |
|                          |   |                                                                           |                                     | —                 | 開催回数 2回<br>参加者数 12人<br>※R5：3回、12人 | ㊦説明会や講習会の開催、事例発信、普及及び利用の促進【(3)-②】<br>・情報発信にトライ！広報力アップ2日間講座<br>地域資源をもつ市民が、インターネットを活用した情報発信の方法を学び、地域情報の発信が増え、地域の活動が促進されることを目的とする。 | インターネット上で情報発信するために活動を言語化する目的もあり、いぬやまでばんへの登録も案内している。                                                                                        |
|                          |   |                                                                           |                                     | —                 | 開催回数<br>14回                       | ・R4に実施したシェア実践講座の受講生有志で定期的に開催している、オンラインでつないで作業を行う「もくもく会&交流会」の伴走支援                                                                | —                                                                                                                                          |

(3)-①（地域資源バンク）マッチング事例

▶オープンリビングみそら野

×わん丸君カレンダー工作教室

いぬやまでばんに登録のある「わん丸君カレンダー工作教室」を実施するための会場を探しているとの相談があり、その会場としてオープンリビングみそら野を利用した。

オープンリビングみそら野は、地域資源バンクに地域交流スペースとして登録があったため、活用に至った事例であり、協働プラザが地域情報の収集を行っていたことで、双方の地域資源の活用ができるマッチングとなった。



▶市内デザイナー×犬山市観光課

観光課よりロングラン花火のチラシ制作ができるデザイナーを紹介してほしいとの相談があり、地域資源バンクに登録のあるデザイナーを紹介した。

相談の中で条件や実施の方向性を丁寧に聞き取り、それに沿った提案をすることで、マッチングに繋がっており、市民と行政のその後の継続的な関係性も期待される。



(3)-②（いぬやまでばん）高校協働実績

犬山総合高校地域探求学習

地域探求学習のテーマの1つにシェアリングエコノミーがあり、5つのグループに分かれてシェアエコサービスを考え、4グループがいぬやまでばんへの登録を行い、内2グループが利用者とマッチングした。

授業内で協働プラザといぬやまでばんを紹介することで、高校生への事業周知の機会となった。

（いぬやまでばんに登録したシェアエコサービス）

- ・犬山の介護施設と個人事業主向けのショート動画を作ります！
- ・現役高校生が電話で皆様のお悩み相談いたします！
- ・スマホの悩みを高校生が解決します！
- ・そこのあなた！犬山に旅行に行きませんか？SJKがプラン考えます＾＾

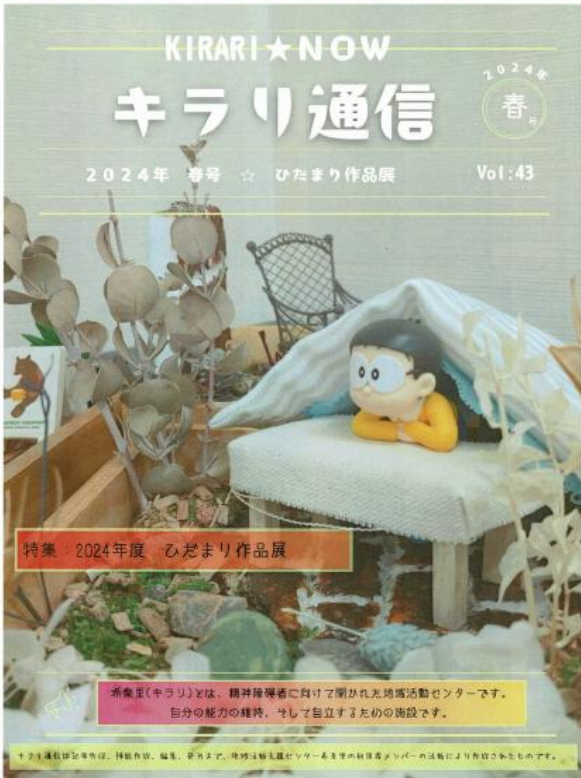


◀老人クラブ連合会

×シニアのためのスマホ・サロン会

老人クラブ連合会より、スマホを活用して役員の連絡を行いたいので、スマホの講座をしてくれる人を紹介してほしいとの相談があり、地域資源バンクに登録のある、スマホの講座ができる団体を紹介した。

当日は、3人の講師によるLINE講座が開催され、講座終了後はLINEグループを役員同士の連絡に活用している。



◀医療法人が運営する地域活動支援センター

×NPO法人にこっと（通信部）

医療法人が運営する地域活動支援センターで発行している「キラリ通信」を自己流で発行してきたが、より良くしていきたいとの相談があり、紙面構成や情報編集のアドバイスができると登録のあるNPO法人にこっとを紹介した。

活動日に合わせて相談会が実施され、キラリ通信の発行に役立てた。



犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和6年度)

| 業務タイトル                |   | 項目2（事業内容/仕様書内容）                       | 成果報告内容<br>★は月次報告を行う      | 成果指標                                   | 実績                                                                                          | 実施内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 進捗状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------|---|---------------------------------------|--------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (4) フューチャーセッション@犬山の実施 | ア | 犬山に対する思いのこもった問いを引き出す各対話テーマの検討         | ア 広報媒体の成果物<br>ウ 参加者名簿    | 開催回数 5回/年<br>参加者数 累計 100人/年<br>新規 5人/月 | 開催回数 5回/年<br>※R5：5回<br>参加者数 累計 81人<br>新規 32人<br>※R5累計：105人<br>新規：50人<br>実行委員 13人<br>※R5：13人 | 【(4)-①、②】<br>「創造的な語り場」として、犬山を舞台に何かやってみたいメンバーが自由に語り合い、対話から新しい価値を生み出すをテーマに、異分野の人材が出会いと対話により、自ら行動に移していく場づくりを実施。<br>R6年度は、2回1組とし、1回目でゲストスピーカーから話を聞いてアイデア出し、2回目は1回目で出たアイデアを深掘りしてアクションプランを作成。アクションプランを実行に移すため、伴走支援も行っている。<br>令和5年度に引き続き、企画運営は、まちづくりに対して当事者意識を持ってもらうため、実行委員形式とし、参加者を運営に巻き込みながら実施している。<br>また、地域団体の積極的な参加も得るため、年齢制限を設けずに実施した。 | 2回1組とすることで、アイデアがより具体的になり、アクションプランの実現に向け、話を進めるグループが多くあった。<br>また、連続開催とすることで、各回で対話を重ね、参加者同士のつながりや、お互いの活動を知るきっかけともなった。<br><br>(テーマ（参加人数）)<br>①ひとりひとりのウェルビーイングを高めていこう！<br>①ゲストトーク＆セッション（19人）<br>②セッション&アクションプランを考えよう（17人）<br>②”あったらいいな”から創る、地域のあたらしいつながり！<br>③ゲストトーク＆セッション（17人）<br>④セッション&アクションプランを考えよう（11人）<br>⑤参加したい人が楽しくその一員になれる、関わりしろのあるアクションプランへ（17人） |
|                       | イ | 議論の幅を広げるための事例やゲストスピーカーの選定、手配          |                          |                                        |                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       | ウ | 年間プログラム（年間5回程度）の企画、広報媒体の作成、印刷、WEBでの発信 |                          |                                        |                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       | エ | 会場設営、参加者受付、当日の進行                      |                          |                                        |                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       | オ | 参加者間の関係性の構築、ファシリテーションの指導              |                          |                                        |                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       | カ | 持ち込まれる問いの社会的価値への誘導                    |                          |                                        |                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       | キ | 協調した行動につなげるための対話の誘発                   |                          |                                        |                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       | ク | ニュースレターの発行                            | イ ★各回の実施実績レポート           | 5回/年                                   | 5回/年                                                                                        | 当日の対話をまとめたニュースレターを発行<br>前回の振り返りとして活用し、HPにも掲載を行った。                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ―                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                       | ケ | 生じた活動、事業のサポート                         | エ 場づくりによって生じた活動、事業に関する調査 | ―                                      | 3回                                                                                          | セッションで生まれたアクションプランの続きを話し合う場として、いぬやまみらいテーブルを活用し、実践に向けたはじめの一步を促した。                                                                                                                                                                                                                                                                     | 3つのアクションプランがいぬやまみらいテーブルのテーマとなり、実施に向けた対話を行った。その後も実施に向けた動きが進んでいる。<br>【(4)-③】<br>(テーマ)<br>・何気ない日常の隣にあると笑顔になる要素を話してみよう<br>・もっとほっと里山セラピー<br>・犬山の隠れた魅力にスポットライトを当てたローカルマップを作りたい！                                                                                                                                                                             |
|                       | コ | 成果発信及び表彰                              |                          | ―                                      | ―                                                                                           | 最終回で、各アクションプランに対して、実行委員が考えた賞を贈り、成果の表彰を行った。【(4)-①第5回を参照】                                                                                                                                                                                                                                                                              | ―                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

(4)-① 実施内容・結果

第1.2回「健康」

ひとりひとりのウェルビーイングを高めていこう！

- ①ゲストトーク（犬山市役所 健康推進課 河村 佐久良 氏）＆セッション  
②セッション&アクションプランを考えよう

「運動や食生活の見直しだけでなく、生活の中で意欲がわくことも健康につながる」という話を聞き、どんな人たちがどんなことで元気になれるかについて対話を行った。

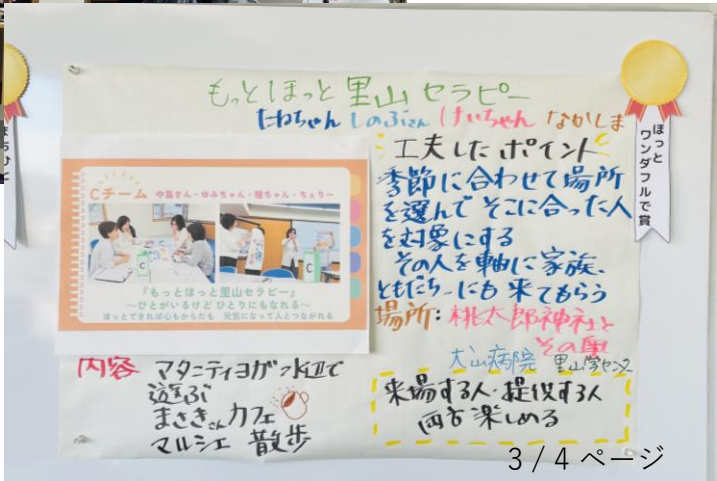


第3.4回「地域」

”あったらいいな”から創る、地域のあたらしいつながり！

- ①ゲストトーク（犬山市役所 地域協働課 佐藤 良行 氏）＆セッション  
②セッション&アクションプランを考えよう

「町内会の役割や現状、高齢化やコロナ禍を経た活動の停滞、担い手不足が課題となっている」ことについて話を聞き、地域にあったらいいなと思う場所やイベントについて対話を行った。



3 / 4 ページ

(4)-② 対話から生まれたアクションプラン

対話から生まれたアクションプラン（一部）

(健康)

①出歩きたくなるまち犬山

犬山城下町を舞台に、「来る人・住む人」が気軽に出歩ける散歩の場として、日常の中で誰でも参加できる自由な取り組みとして、マルシェを実施。犬を愛でたり、街並みを楽しむことで、心身の健康を促進する。

②ひろげるサポーター

地域住民同士が知り合うきっかけをつくり、つながりを増やすためのサポーターを増やす活動。マルシェやおはなし会など住民主体のイベントを企画し、楽しく交流の輪を広げる仕組みを作る。情報発信として、SNS、まちの掲示板、直接の声掛けを通して、サポーターがつながりづくりを手伝うことで、助け合いのコミュニティづくりを目指す。

(4)-③ 実施後の動き

もっとほっと里山セラピー

「何をしてもなくてもいい、ほっと一息つける場を提供する」というアクションプランを立てたグループから、中心メンバーがみらいテーブルやランチミーティングを開催し、実施に向けた構想が練られた。実際に、ヨガを楽しみながらおしゃべりするイベントを開催予定で動いている。  
また、犬山市の健康アプリ「てくてく」を活用促進する案も出され、実際にコースを歩いてみるプレイベントも計画されている。



デイリーマルチアミューズメント

コンビニなどの日常の生活動線上に、アート展示を取り入れ、地域住民が気軽に参加できる・楽しめる場をつくるというアクションプランを立てたグループから、中心メンバーがみらいテーブルを開催。その後、関わるメンバーで連絡グループを作り話し合いが進められた。  
企画書を作成してコンビニへアプローチする他、PR媒体の検討なども進められている。



犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和6年度)

| 業務タイトル          |   | 項目2（事業内容/仕様書内容）                                                         | 成果報告内容<br>★は月次報告を行う                 | 成果指標                                                   | 実績                                                                                              | 実施内容                                                                                                                                                                                                                                                 | 進捗状況                                                                                                      |
|-----------------|---|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (5)地域活動の担い手育成事業 | ア | コミュニティナースの概念やその手法等を学習する講座を開催するとともに、受講者同士のつながり作りを行い、委託期間内で20人以上の担い手を育成する | ★担い手育成講座の実施結果<br>ウ 状況写真             | 地域における社会課題の解決に向けた取り組み<br>1件/年<br>コミュニティナースの育成<br>10人/年 | 地域における社会課題の解決に向けた取り組み<br>開催回数 3回<br>※R5：3回<br>コミュニティナースの育成<br>17人<br>（市外在住：2人）<br>※R5：15人（市外2人） | ・コミュニティナース・ベーシック講座【(5)-①】<br>「毎日の嬉しいや楽しい」を地域住民とともにつくり、「心と身体の健康と安心」を実現する「コミュニティナース活動」の概念を基に、暮らしの身近な存在として、地域に必要な機能をつくっていく人材を育成するため、「コミュニティナースベーシック講座」を実施。<br>【テーマ】<br>①第1項 関係をきずく、第2項 つぶやきを拾う<br>②第3項 まずはやってみる、第4項 みんなで物語をつくる<br>③第5項 健康のイメージを広くもつ、出発式 | 1・2期合わせて32人のコミュニティナースが出発し、市内各地で活動を行っている。【(5)-④】                                                           |
|                 | イ | 育成した担い手が各地域で活躍できるように支援を行うとともに、活動状況について把握を行う                             |                                     |                                                        | ○交流会<br>開催回数 2回<br>参加者 20人<br>○研修会<br>開催回数 1回<br>参加者 5人                                         | ・フォローアップ交流会&研修会【(5)-②】※R6新規事業<br>ベーシック講座受講生を対象に、出発後の活動について共有しあうことで、活動のヒントが得られる機会とするための伴走支援として実施。                                                                                                                                                     | 交流会では、コミナス同士で活動報告と意見交換を行い、研修会は講師から他市町での事例を開き、知識を深めた。                                                      |
|                 |   |                                                                         | イ 育成した担い手の活動、及びその結果に関する調書<br>ウ 状況写真 |                                                        | 活動報告 71件<br>※R5：16件                                                                             | ・コミュニティナース支援、アウトリーチ【(5)-③、④】<br>各コミュニティナースが行った活動をLINEグループで共有し、進捗確認と伴走支援を行った。また、コミュニティナース主催のイベントへのアウトリーチも行った。                                                                                                                                         | （活動事例）<br>・内田町の市民と共にラジオ体操を企画、ラジオ体操に来るまでの経緯を傾聴し、コミュニケーションを深めた。<br>・お茶会や食事会の中で、参加者の話から、おせっかいできそうなことを聞きとりした。 |
|                 |   |                                                                         |                                     |                                                        |                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                           |
| (6)自主事業及び人材育成   | ウ | オ 協働のまちづくりに関する市職員研修の企画、実施                                               | ★事業の結果概要及び成果物<br>イ 状況写真             | 組織運営や連携、協働に関する勉強会<br>開催回数 2回/年<br>参加人数 20人/年           | 組織運営や連携、協働に関する勉強会<br>開催回数 1回<br>参加人数 17人<br><br>協力コミュニティナース 6人                                  | ・犬山市職員研修「対話を通して市民参加のあり方、手法を考えてみよう」【(6)-①】<br>市主催の二部構成の研修の第2部を協働プラザの自主事業として実施。前半は観光課の職員から市民参加の事例を紹介し、後半は協働プラザが主体となって、コミュニティナースと職員4人が1つのグループとなりグループワークを実施。<br>【グループワークテーマ】<br>①犬山市民目線でどのような場なら参加したくなるか<br>②職員として、どのような案なら取り入れられるか                      | 市民参加を実施するハードルを低くするという点で、コミュニティナースがグループワークに入ったことで、市民参加に関わりのない部署にいる職員も市民目線で研修を受講でき、市民参加のイメージが具体的に湧く研修となった。  |
| (7)その他の業務       | ア | ア 市が実施する事業に関して必要に応じ協力する                                                 | ア 市に対する協力実績<br>イ ★「協働プラザミーティング」実施記録 |                                                        | 開催回数 2回<br>参加者 6名                                                                               | ・助成金の制度概要を説明する「助成金申請にトライしてみよう！」説明会を実施。<br>・助成金事前相談、個別サポート<br>・附属機関会議への出席等<br>・町内会の「みらい」ミーティングの実施協力（コミュニティナースからも4人参加）                                                                                                                                 | —                                                                                                         |

(5)-① 実施風景



(5)-② フォローアップ交流会 & 研修会



(5)-④ コミュニティナース・ベーシック講座修了生 活動実績

内田町コミナス▶

観光課で実施した河畔でカタリーヴァから地域でのつながりを得た協力者と共に、高齢者と新しく移り住んできた人との交流会を開催。頭の体操をレクチャーしたほか、今後の活動についても話し合いが行われ、ラジオ体操などの企画が継続して実施されている。

地域との関わりについて協働プラザから助言等のサポートも行っている。



(5)-③ 総合高校との協働実績

犬山総合高校地域探求

地域探求学習のテーマの1つにコミュニティナースがあり、5つのグループに分かれてアクションプランを考え、実施した。

アクションプラン検討に向けたアドバイスや、プランを実施できる場の検討・高校とのマッチングを行い、生徒が活動できる場の提供、実施当日の支援等を行った。

（作成したアクションプラン（内容））

- ・人とペットを笑顔に♪（飼い主さんの困りごとに関するアンケート、医療センターへの解決策ヒアリング）
- ・食事を提供（地域で行われている子ども食堂で、食事の提供を行いながら地域住民と仲を深める）
- ・食べて話してカラオケ🎵（関わりの少ない高齢者と一緒に楽しいと思えるよう、お話ししたり歌ったりする会を実施）
- ・シニアゴハン〜一緒に料理を作って食べよう！〜（小学生から高齢者まで幅広い方と実施）
- ・みんスポ〜みんなでスポーツをしよう！〜（小学生と一緒にポッチャやドッチボールで遊んだり、交流する会を実施）



(6)-① 自主事業 犬山市職員研修



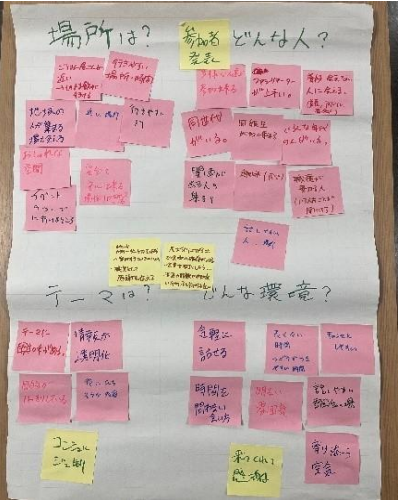
◀かがやきサロン

毎月2回、かがやきサロンを犬山西ふれあいセンターで開催。毎回ゲスト講師をお呼びし、様々な活動を実施している。この日は押し花でカレンダーを制作し、手先を使って集中し、制作を楽しんだ。

月2回の決まった日に実施、町内会にも回覧をしていることで、近隣町内会の高齢者が集う場となり、関係性も生まれてきている。

▲植物とつながり心豊かに

城下町で実施した「おもしろそうだがや」にて、お茶&お花を楽しみ臨時カフェをオープン。来場者には、「自分が大切にしている思い・行動・言葉」を記入してもらい、個々を振り返る時間作りを提供した。



（グループワークの中で出た意見（一部））

①犬山市民目線でどのような場なら参加したくなるか  
行きやすい場所・時間、普段は入れない場所、自然が豊かな場所、同世代・知っている人がいる、ファシリテーターがうまい、お茶とお菓子がある、子どもと一緒に行ける、チラシが楽しそう、自分の意見が反映される、人の役に立てる など

②職員として、どのような案なら取り入れられるか

あまり使われない公共施設を使う、木曽川の河川敷で行う、知っている人が事例紹介をする、来てくれたことに感謝する、特別感を出す、朝市やマルシェと同時に開催する、SNSで周知する など